

同志社校友会大阪支部 常任理事会議事録

開催日時 2020年1月20日(月) 19:00~21:00

開催場所 大阪倶楽部

出席者 宮本代表相談役、河内相談役・直前支部長、平松相談役、柴田相談役、久保支部長、神崎副支部長、小池副支部長、長谷川副支部長、東川副支部長、長井専務理事、岸田執行常任理事、三輪執行常任理事、川井執行常任理事、岩田執行常任理事、新村監事、清水監事、吉田(米次郎)常任理事、森本常任理事、扇田常任理事、井上常任理事、吉田(勝明)常任理事、能川常任理事、林(靖範)常任理事、八尾常任理事、要常任理事、土橋常任理事、原(伸行)常任理事、久門常任理事、小林常任理事、桑原常任理事、齋藤常任理事、西川常任理事、吉岡常任理事、松本常任理事、太田常任理事、中西(考一)常任理事、益井常任理事、正木常任理事、乙守常任理事、下村常任理事、西村常任理事、廣石常任理事

司会・進行 長井専務理事

本日進行の長井専務理事より理事会開始を伝える。

1. あいさつ 久保支部長

- [1-1] 新年あけましておめでとうございます。旧年中は校友会大阪支部活動にご協力賜り大変ありがとうございました。昨年12月4日(水)にはクリスマス音楽祭を開催しましたが、ご来場いただいた331名の方からの評判は上々でした。引続き魅力的な事業を通して会員数を増やしながら校友同志を確りと結んでいきたいと考えます。
- [1-2] 校友会大阪支部新役員選任の件、推薦用紙を2月21日迄に事務局へ提出願います。

2. 樋口始郎常任理事逝去について 宮本代表相談役

- [2-1] 12月4日朝に逝去の連絡がご家族よりありました。御年72歳。大阪支部や樹徳会の役員、本部副会長等を歴任。会社の従業員、校友からも愛された方でした。
- [2-2] 全員で黙祷。

3. 昨年クリスマス会の報告と次回日程について 川井執行常任理事

- [3-1] 同志社出身ミュージシャンである深尾さん、田中さん、神田さん、ワイルドローバーさん他を迎え音楽祭を開催、331名の校友の皆様に参加いただきました。
- [3-2] 運営面では一般席が不足する事態も発生し、急遽テーブルを増やすことで対応しましたが、団体席、一般席の席数配分は検討余地が残りました。また、100名近い来場者が初参加者であり、リピーターとなって継続して参加して貰える仕組みや新たな層を拡大させる仕組みづくりが今後の課題と認識しています。
- [3-3] そうした課題認識を踏まえ、次回クリスマス会は平日の参加が難しい方、又は夜遅くまで居られない方の参加を促すためにも土曜日開催を提案したいと思います。
- [3-4] 開催曜日変更に当たり各役員より各種質疑のあった、開催時刻、予算、集客方法等については今後執行メンバーにて協議し、事業運営に盛り込む方向となった。尚、会場・日時については、現在予約応諾のあるリーガロイヤルホテル大阪、12月5日

(土) とすることについても全員の拍手にて承認となった。

4. クリスマス会の会計報告 岩田執行常任理事

[4-1] 下記の通り、収支はプラスとなった。

[4-2] 収入－支出＝¥106,207

項目	収入金額	項目	支出金額
会費（一般／役員）	¥3,081,000	会場費	¥2,978,333
祝金	¥260,000	出演料・謝礼等	¥940,000
法人協力会員（28社）	¥1,250,000	DM・郵送料等	¥566,460
収入合計	¥4,591,000	支出合計	¥4,484,793

5. 第七回大懇親会について 久保支部長

[5-1] 令和2年2月22日に国立京都国際会館にて開催されます。今年はオリンピックイヤーであり同志社オリンピックによるトークショーや応援団等の演舞が予定されています。大阪支部では単独で150名の動員目安があります。

[5-2] 宮本代表相談役より、動員に向けて一早い声掛けの要請があった。

[5-3] 井上常任理事より、協賛金（プログラム広告）の協力依頼も併せてなされた。

6. 大阪支部130周年を契機とした事業について 久保支部長（西川常任理事より説明）

[6-1] 130周年を契機に大阪支部として老若男女、一般会員の方々との親睦を深めるために花見船（最終日曜3月29日）就航事業の提案がなされた。

[6-2] チャータークルーズ船へは日本橋から乗船し、途中、川口居留地（新島裏ゆかりの地）にも立寄り、その後、花見に興ずるプラン。1隻70名乗船で一人あたり予算は飲食料込み7～8千円程度とすることも含め、全員の拍手を持って承認となった。

7. 総会について 久保支部長

[7-1] 7月1日（水）ウェスティンホテル大阪にて総会を開催します。例年通り、式典と講演会並びに懇親パーティーを予定しており、講演会では、植木新学長の方針説明と佐藤和弘様（S54年 工学部卒 東証1部上場企業代表取締役）に就任予定）を予定。

本講演会内容については、全員の拍手を持って承認となる。

[7-2] 宮本代表相談役より、大阪支部130周年記念に関わる講話も盛り込んで貰いたいとの発言があった。

[7-3] 小池副支部長より、大阪支部130周年記念特別事業予算を活用し、会員への贈呈用記念品の制作もお願いしたいとの要請がなされた。

8. 新会員募集協力について 小池副支部長

[8-1] 法人協力会員の御礼。会員増加への協力を引き続きお願いしたい。

[8-2] 各学年で集まる機会に校友会総会、クリスマス会等を活用する動きもあるとの説明。

[8-3] 久保支部長より、法人協力会員の常任理事枠設定の提案があった。その内容は、法

人協力会員の代表者が常任理事となり当該法人で動員等を図り、転勤異動等の場合は別の会員が常任理事となる仕組み。法人協力会員となるメリットの一つとして総会等にて団体テーブル席（10名以上動員の場合）を用意することで内外にアピールできる点等。本提案に係り、柴田相談役より、事前用意したテーブル席に空席が目立った過去経験を踏まえ、そのリスク対策も併せて検討するよう要請があった。

9. 各組織の近況について

[9-1] LCC 清水監事

11月16日 寺西雅行税理士によるセミナーを開催（済）

1月29日 高原瑞紀氏（株式会社JAFCO関西支社長）の講演予定

[9-2] HLC 要常任理事

11月26日 エクセディの寝屋川工場見学実施（済）

1月17日 新春経済講演会開催予定

次回は3月16日

[9-3] 樹徳会 正木常任理事

11月12日 第30回 大阪支部総会 林敏之氏の講演（済）

[9-4] 大阪同志社クラブ 神崎副支部長

12月16日 クリスマス会開催（済）

1月22日 新年会を開催予定

新春落語会、同志社スポーツを応援する会を今後開催予定

[9-5] 同志社不動産会 RE クローバー倶楽部 宮本代表相談役

11月19日 立命館と合同例会

12月10日 大阪支部忘年会

1月14日 KKDW 情報交換会

[9-6] 同経会 土橋常任理事

1月6日 第9回 同経会大阪の集い ダイフク下代博社長の講演（済）

今年は、近畿大学総務部長 世耕氏の講演を予定

[9-7] 紫翠会 益井常任理事

2月5日 理事会開催予定

2月18日 大野様の寄付で同志社香里高校メディアセンター起工式

[9-8] DY-OB会 新村監事

11月22日 第89回 DY-OB会 本井康博 神学部名誉教授の講演（済）

1月24日 FM802見学会 栗花社長の案内

2月4日 第90回 DY-OB会 ホテルモントレ大阪 増山実氏（作家）の講演

2月13日 クイ・ダ・オーレ同志社会 すき焼き「はり重」

3月8日 阪急宝塚線同志社会 宝塚歌劇観劇

3月9日 同志社食の会 道野シェフトークショー「メルカートアンジェロ」

3月14日 クイ・ダ・オーレ同志社会 蕎麦懐石「東福寺澤正」

3月17日 同志社食の会 総会「がんこ阪急東通り店」

4月4日 同志社寄席

5月22日 FB東京同志社交流会 「大手町うおまん」

10月31日 ハローウィンと同志社OB 京橋ベロニカ

上記イベントを通じ校友の輪を拡げ、大阪支部総会・クリスマス会への動員を図る

[9-9] 政法会 松本常任理事

11月16日 近江八幡ハイキング

11月27日 忘年会 がんこ梅田店

1月29日 役員会 政法会10周年記念事業を計画

[9-10] メディアクローバー会 松本常任理事

1月30日 朝2時半～ 寄付講座の同志社学生7名がDJ出演 MBSラジオ

[9-11] 士の会 廣石常任理事

12月4日クリスマス会にて「無料法律相談」を設営。3名の相談事案あり。

10. 会費納入の状況 岩田執行常任理事

[10-1] 納入人数は、終身会員261名、年次会員175名（1月15日現在）

→昨年比（2018年12月5日）▲1名減少、終身会員は増加も一般会員は減少。

11. 役員全員による今年の抱負披露は時間都合で割愛

[11-1] 平松相談役より抱負紹介があった。

12. 校友会本部の支部支援について 井上常任理事

[12-1] 各支部へ40万円程度の支援継続。若手校友会員の増加企画への支援制度追加。

[12-2] 大阪支部はLCC、HLC組織を立ち上げ、支部で支援し新しい校友の参画を促す仕組みをつくってきた。

[12-3] 宮本代表相談役より、評議員の方は評議員会に欠席の場合は[賛成]葉書の投函をと。

次回常任理事会開催日 令和2年3月9日（月）19:00～

於：大阪倶楽部

同志社校友会大阪支部

（議事記録 川井執行常任理事）

（文責 長井専務理事）